

平成30年度「若手教員等研究支援費（若手教員等支援枠）」研究成果報告書

研究課題	社会教育主事の養成・研修のリデザイン		
氏名	倉持 伸江	所属	職名
		総合教育科学系 生涯教育学分野	准教授
CITI Japan 研究倫理 e-ラーニングプログラムの受講		<input checked="" type="checkbox"/> ←受講済の場合はチェックをすること	
<p>【研究成果の概要】（文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度）</p> <p>本研究は、社会教育主事養成・研修の実態と課題を整理し、養成・研修のデザインをリデザインすることを通して、これからの社会に求められる教育専門職としての社会教育主事の養成・研修のあり方について実践的に明らかにすることを目的とした。その背景には、「社会教育主事講習等規程の一部を改正する省令」が2020年4月から施行され、社会教育主事養成制度が改正されることがある。</p> <p>本研究では、社会教育主事をはじめとした社会教育職員の実践力の育成をめざして、「継続的な実践と省察のサイクル」「学びあうコミュニティの形成」を実現する養成・研修の包括的なカリキュラムとそれを支える組織・制度のデザインを検討した。主な研究成果は以下のとおり。</p> <p>I 養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育実習を核としたカリキュラム研究 <p>新たな社会教育主事養成制度において必修化される「社会教育実習」に着目し、学生の実践力を培う大学と社会教育現場が協働した実習の在り方について検討した。すでに社会教育実習を実施している主に東京の養成校から事例を収集したり、関西地域の養成校および実習受け入れ先や社会教育職員との意見交換を行ったりして、社会教育実習のタイプ（形態、内容、方法、実習先等）を整理した。全国社会教育職員養成研究連絡協議会（社養協）と共同で研究を行い、その成果を「社会教育士の養成と実習—社会教育実習支援ネットワーク」という養成校・大学関係者向けパンフレットとしてまとめ、発行した。また収集した事例をもとにした「社会教育実習支援ネットワークサイト」の立ち上げに貢献した。（https://sites.google.com/view/shazissyunet）</p> <ul style="list-style-type: none"> また、社会教育主事・職員の養成と研修をつなげ、実践と理論を総合的に学ぶカリキュラムについて、社会教育職員研究や省察の実践論、組織学習論等の先行研究や事例研究から分析・研究し、日本社会教育学会、全国社会教育職員養成研究連絡協議会の研究会で報告した。 ・社会教育主事養成課程における学びの可視化 <p>あらたな社会教育主事養成制度においては修了者に「社会教育士」という新たな称号が付与される。従来から社会教育主事養成課程における学習成果の活用については、資格が職に結びつかないため受講学生の確保につながらないという課題が指摘される一方で、近年多様な職業において学習成果が活用されている実態が報告されている。本研究では社会教育主事養成科目「生涯学習特講D」において、受講学生と共に社会教育主事養成課程における学びの可視化に取り組み、パンフレットを作成した。</p> <p>II 研修</p> <p>大学と地域が連携・協働した社会教育職員の研修のシステムについて検討するために、本学公開講座として「コミュニティ学習支援コーディネーター養成講座」を実施した。本講座は東京都公民館連絡協議会や立川市の職員研修として実施するしくみを構築しているが、これらの組織・自治体と大学が連携・協働して研修を実施することの意義や課題について、担当者や受講する職員等にヒアリングを行ったり、意見交換をしたりし、検討を進めた。また、養成と研修の包括的なカリキュラムを検討するために、養成課程の科目の一部と、研修講座のプログラムの一部を合同で実施するなどの試行とその効果の検証に取り組み、成果を論文等にまとめた。</p>			
<p>【研究成果発表方法】</p> <p>口頭発表『「新しい社会教育主事養成」は何をめざすのか 実践と理論を総合的に学ぶカリキュラムの展望』、倉持伸江、全国社会教育職員養成研究連絡協議会研究大会、2018年5月、東京学芸大学</p> <p>口頭発表「社会教育主事養成の見直しについて」、倉持伸江、日本社会教育学会六月集会、2018年6月、東洋大学</p> <p>論文「実践と省察のサイクルによる力量形成を支える大学 - 専門的実践力を培う養成・研修カリキュラムのデザイン—」、倉持伸江、日本社会教育学会編『日本の社会教育第62集 社会教育職員養成と研修の新たな展望』、2018年10月、pp.206-217（R）</p> <p>論文「学び合いを支える実践力を培う—コミュニティ学習支援コーディネーター養成講座4年目を迎えて」、倉持伸江、『平成30年度 学び合いを支える実践力を培う コミュニティ学習支援コーディネーター養成講座 実践記録集』2019年2月</p> <p>論文「社会教育職員養成の変化と『社会教育士』」、倉持伸江、『月刊 社会教育』2019年5月号（印刷中）</p>			

※発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入すること。

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。